神戸芸術工科大学　「地域社会や企業とともに成長する」

	環　境	課　題	対　策
学内	「情報」から「空間」までデザイン総合大学として、「芸術工学研究所」を社会との窓口に、企業の技術を活かし、「作品」レベルではなく「製品」化できる体制にある。さらに、「ものづくり」領域に留まらず、地域連携分野など「ことづくり」領域まで昇華させている。	東京的「粋」というテイストを世界に発信する必要がある一方で、アジア市場を視野に入れた関西的「情」「雅」というテイストを関西から発信する必要。 企業側のニーズとして、商品開発について、短期的・単年度での効果を期待される傾向がある。	「芸術工学研究所」を社会との窓口として、行政・金融機関との連携および大学間連携を推進。脱下請けへの実例・ノウハウ積み上げにより、就職志望者増加・補助金や大学予算活用・メディアでの取り上げ効果・「産学連携」によるブランド力などのメリットを取ってもらう。神戸市と「デザイン包括協定」締結。
学外	価格競争に巻き込まれない高付加価値製品をいかに創り出すか、またそういう環境をいかに整備していくかが求められている。	産学連携においては、費用や知財関連の権利関係で問題となるケースが多い。大学・行政・金融・企業連携における、アジアを視野に入れたルールづくりが関西では求められる。	学内で相談受付～企画～連携～資金支援までの一貫した連携システムを構築しており、これを横展開していけるような拡がりを期待。

「売り」「特徴」

☆「情報」から「空間」まで…
デザイン総合大学として、「ものづくり」領域に留まらない、
地域連携分野など「ことづくり」領域までも対象とする。

キーワード

「ものづくり」から「ことづくり」まで
関西からアジアに向けての雅（みやび）」発信

具体的ニーズ

重点分野

「脱下請」につながる新商品・製品の共同開発及びプロモーション支援

連携対象となる企業技術

「脱下請」への業態変換等を目指している中小企業。

相談実務

相談の際の留意点

「脱下請」を目指すべきか、考え直すべきかを検討するため、入り口段階でお断りする可能性もあり。

相談の手順

相談窓口は芸術工学研究所（事業推進課）に一本化している。
ｈｔｔｐ://www.kobe-du.ac.jp/lib_lab/art/
mail: kdu-research@kobe-du.ac.jp